

アーバンデータチャレンジ2022

和歌山ローカルナレッジ

《様々な活動主体による地域情報化》

地域を知り、共有すれば、心が動く。

UDC和歌山実行委員会

上仲 輝幸

株式会社 紀伊民報 マルチメディア事業部

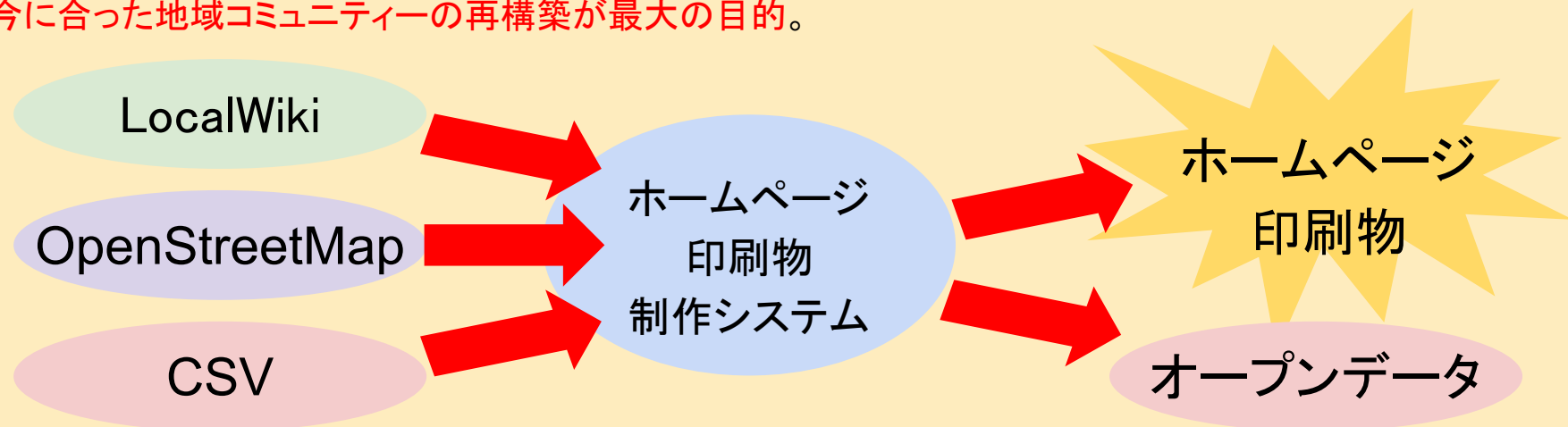
〒646-8660 和歌山県田辺市秋津町100

TEL.0739-26-7171 FAX.0739-81-7181

e-mail:t-kmnk@agara.co.jp

和歌山ローカルナレッジとは

- オープンデータやデータベースを活用した地域学習とデータ作成、和歌山大学がきっかけで広がったLocalWikiやOSMを活用した、マッピングパーティーなどシビックテックの活動。
- 自治体や学校、さまざまな組織や企業、住民などが連携して、地域の歴史や文化、地理、産業、観光資源などを集約し、共有財産とする。
- 紀伊民報のシステム「eメイド」を通してオープンデータの公開、WEBサイトや印刷物で見える化。ソーシャルメディアなどを活用し、情報流通の促進をする。
- さまざまな立場や多世代との交流活動を通じて、情報を共有し、地域課題の解決に取り組み、昔を知り、今に合った地域コミュニティの再構築が最大の目的。



ホームページ更新システム「eメイド」

- eメイドは、ホームページや印刷物を制作する紀伊民報のシステム。
- さまざまAPIのサービスや、CSVからもインプットとアウトプットが可能。

和歌山ローカルナレッジでは、下記を活用して、情報流通の促進を図る

- LocalWikiからAPIで情報を取得し、WEBサイトや印刷物を生成する仕組み
- CSVデータから、WEBサイトを生成する仕組み
- WEBページの生成や、入力した情報をCSVで出力できる情報共有システム

「Kiiminpo OpenData Project」の活用。

CC BYライセンス
(二次利用、再配布が自由)



WEBサイト



印刷物(PDF)

「和歌山ローカルナレッジ」の目的

地域課題の解決という共通の目的があっても、それぞれの状況や立場によって、

目的は異なる。



みんなで取り組みオープンデータにすることで、それぞれの目的を達成

商店街イベント応援プロジェクトと店舗オープンデータの活用

【活動内容】

神島高校で課題研究の授業を受講する生徒は、商店街の空き店舗を活用したイベントを動画を使って応援。

田辺市商店街振興組合連合会が公開している店舗のオープンデータと組み合わせてウェブページで公開し、UDC提出作品とする。

【目的】

神島高校では以前より地域に関わる事を目的として、地域の特産品である紀州南高梅を使った商品開発やイベント企画などに取り組んでいる。

エキストラ商店街では事務局と相談する中で「イベントが日常につながらない」という駅前商店街としての課題を、動画での情報発信によって解決するために地域の事業者と一緒に取り組むことで、実践的なプロモーションに関する学びになるとともに地域の事業者を知る機会とした。



商店街イベント応援プロジェクトと店舗オープンデーの活用

【開催日時・場所】

9/17(土)すさみ町(多世代交流施設イコラ:Gadabouts)

※動画の撮影や編集に関する授業に向けての打ち合わせ

9/21(水)5・6限(駅前商店街ヒアリング)

※撮影前の顔合わせと各店舗の見学とヒアリング

※イベント主催者や事務局関係者からこれまでの経緯と課題について

10/14(木)1限(動画に関する授業)

※本校の卒業生でもあり、すさみ町で映像制作に取り組んでいる2人に講師としてお越しいただき、撮影や編集に関するレクチャーを受けた。

10/19(水)5・6限(動画撮影)

※各グループでの動画撮影

11/1(火)～11/4(金)の放課後(動画撮影)

※定休日や営業時間の関係で撮影できなかった店舗の撮影

10/19(水)～11/6(日)動画の編集

※生徒が各自のスマホアプリで編集

11/7(月)～11/11(土)動画の投稿

※神島屋のインスタグラム・TikTokから発信 ※生徒個人のSNSからも



商店街イベント応援プロジェクトと店舗オープンデータの活用

【主催・関係者】

主催：神島高校「神島屋」

関係者・協力者：

田辺エンプラスの尾崎氏（エキストラ商店街事務局）

イベント主催者（駅前商店街役員の方々）

Gadaboutsとして活動する映像制作者

塩路大智さんと林桂也氏

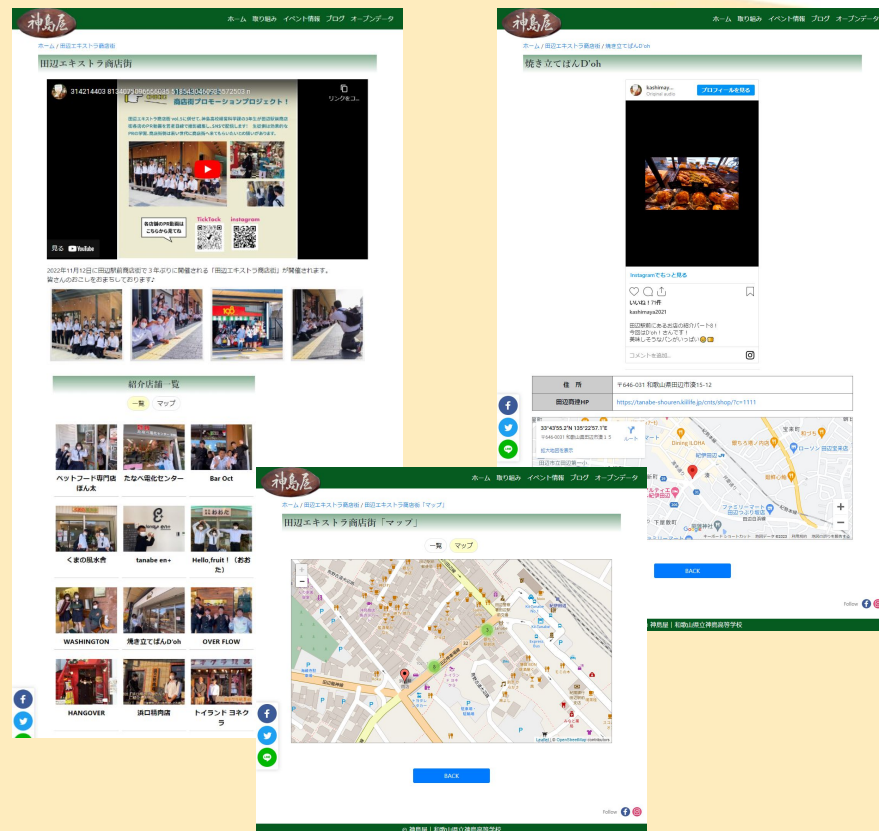
地域で活動するデザイナーの竹林氏

【参加者数】

生徒：27名、教員：3名

【ホームページ】

<https://kashimaya.kiiminpo.jp/pj/tanabe-extra-ss2022/>



外と店舗

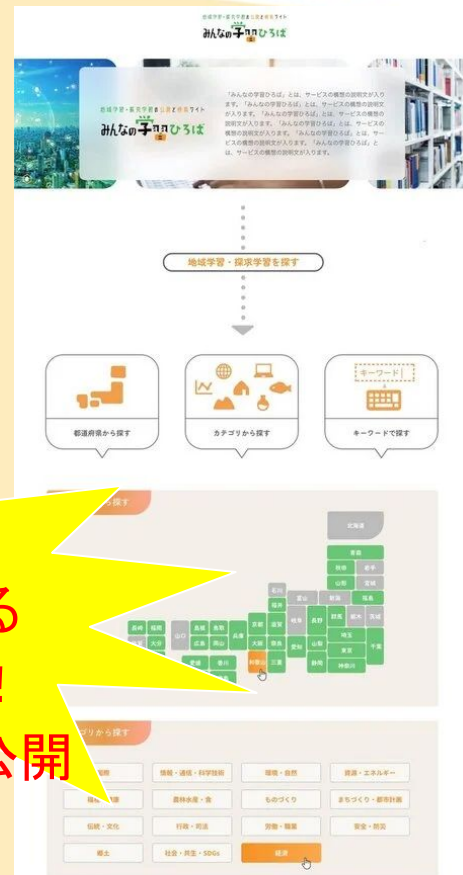


コンテンツの管理は
Googleスプレッドシート
1枚で更新できる

学習成果を発表する場「みんなの学習ひろば」

基幹となるデータベースは、生徒がパワーポイントのスライドやワードの文書、ポスター(画像)などにまとめた資料を格納。入力はエクセルやスプレッドシートで行い、学校や学年、クラス単位で大量の情報を一括で管理することができる。情報の修正や削除も、シート上で行い、アップロードするだけなので簡単。入力に当たって都道府県名、年度、学校名、カテゴリなどを付記することで検索を容易する。全国の小中高校で登録が可能。登録された情報はオープンデータで公開するので、誰でもご自由に、ウェブページに埋め込み可能。

**学習の成果は
紀伊民報が管理する
ウェブサイトに登録！
オープンデータとして公開**



和歌山ローカルナレッジが考えるシビックテック

- 人と情報をつなぐ
- 情報と情報をつなぐ
- 人と人をつなぐ

情報を共有すれば、心が動く

和歌山ローカルナレッジが考えるシビックテックは、
技術の前に「**つなぐ**」がスタートライン。